

おとずれ

2021年5月465号

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

聖母月を迎えて

山中修道院 シスター門奈正子

今年も美しい聖母月がやってまいりました。私たちの修道会は、サレジアン シスターズと言っていますが、本部、イタリアでは、「Figlie di Maria Ausiliatrice」扶助者聖母の娘、扶助者聖母会と呼ばれています。「私たちを導いたのは聖母です。」という聖ドン・ボスコの言葉に信頼し聖母の娘としての愛を培い、聖母のもとにはせ寄り、たすけを願っています。

皆様もよくご存じの奇跡があります。それはカナの婚宴の時、聖母は「なんでもこの人の言う通りにしてください。」と言い、水をぶどう酒に変えるという奇跡がおこなわれました。聖母にお願いすることは必ずイエスに受け入れられるのです。イエスの母であり、私たち全人類の母として、希望が与えられ、より安全な道へと導いて下さっていると確信しています。

小さい子どもたちも、マリア様がとても好きです。お祈りも「アヴェ.マリア」をよく覚え、声をはりあげて祈る姿を何度も見かけたことがあり、かわいいお祈りの光景に感動し、私も「アヴェ.マリア」を心の中で繰り返しました。

また、聖堂を訪問する方が「マリア様に捧げてください。」とお花を持って来て下さいます。ある時、「マリア様にあげるんだ。」と小さなぬいぐるみを手にして、マリア像の足元に置いた子どももいました。

私の知っているミッションスクールでは、聖母月になると徳の花と称し、具体的に良いことを実行し、大きなパネルにクラスごとにマリア様を描き、造花をつくり、毎日少しずつ飾っていき



ます。それを、聖母祭に展示し、聖母を讃える行列の雰囲気全校生で盛り上げます。校庭にこだまするロザリオの祈りも熱心さを増し、参加者はたくさんのお恵みをいただいた喜びに包まれます。

百花繚乱の美しい5月に聖母をたたえることを感謝し、皆で聖母のマントのもとにはせ寄り、日々の生活の中で、すべてを聖母に委ね、その生きたあかしに学び、私たちの周囲の人々にも聖母を知らせていけたら、素晴らしい聖母月となることでしょう。

共に心をあわせて歩んでまいりましょう。

最後になりましたが、山中修道院2年目に、院長という任務をいただきました。

皆さまに支えていただきながら、私も皆様のためにお祈り申し上げ、歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

吉田から生活の基盤を栃木に移し、教会の最も近くに住む信徒から最も遠くに住む信徒になって早5年。まだ帰れないようですので、転出手続きを取らせていただきました。

新婚当初から30年余り、出産、子どもの入院、私自身の入院などで教会の皆様には大変お世話になりました。また、こうした困難のたびに子どもたちを預かっていただいたサレジアンシスターズの皆様、子どもたちを愛で包んでくださった小さき花幼稚園の先生方、本当にありがとうございました。

二人目の出産後からはじめたおとずれ編集、その後の日曜学校のお手伝いのおかげで、季節感を味わいながら信仰生活を送ることができました。司祭館建設では聖堂と新司祭館の間をコンクリートでつなぐ案を強引に進め、司教様に怒られたこともいい思い出です。幼児洗礼を受けずに育った子どもたちが皆、自ら望んで受洗したのも富士吉田教会。それぞれ、時にかなった美しい出来事でした。

1月に結婚した長女すみれはこの春から星美短大で働き始め、ドン・ボスコ社勤務の次女ゆりえと同じサレジアンファミリーの仲間入りをしました。吉田教会で侍者をしていた幸生も、もう社会人2年めで本郷教会所属。全員東京に住んでいます。

富士吉田教会は、信徒が自ら祈り、動ける素晴らしい教会です。小教区内に2つも修道院があって、教会のために祈ってくださっています。おとずれの原稿をいただいたり、ヨハネ祭・聖母祭で日曜学校をご招待いただいたり、大変助けられました。これからも教会、修道院、幼稚園、お互いを思いやることでつながっていてほしいと思います。

転出先の教会は、映画「はなちゃんのみそ汁」の撮影をした石造りのりっぱな教会なのですが、ベトナムの技能実習生、フィリピン人が半数、あとは高齢の日本人で、隣接する幼稚園はあるけれど、子どもはいません。吉田での経験を活かして、神様の望まれる奉仕の機会が与えられるよう、祈っています。

転出しても月に1度は吉田に戻っているのので、日曜に重なりましたら、いままでどおりミサに参加させていただきます。転出記録に驚かれる方がいるかもしれないので、ご挨拶させていただきました。感謝のうちに。

教会委員会記録

4月 11日 21名参加

1. 4月～5月の典礼について・・・5月は「こよみ」4ページ参照
2. 千葉俊一神父様の紹介
千葉神父様へ各委員、担当者の紹介
3. 新型コロナウイルス感染症対策中におけるミサについて
今月に入り又感染が拡大してきているので、今までの対策を継続して行う。

教会記録

◎ 結婚 1月30日 (聖イグナチオ教会にて挙式) 末永くお幸せに！

田村 由利也さん・マリア テクラ 遠藤 すみれさん

◎ 転出 富士吉田へお帰りの際にはお立ち寄りください！

遠藤 伸子さん カトリック鹿沼教会へ



お知らせ

◎ 献金のご報告

- ・東日本大震災義援金・・・9, 770円
- ・四旬節献金・・・51, 973円

各々カリタスジャパンに送金いたしました。ありがとうございました。

本年の四旬節は、東日本大震災から10年の節目にあたりました。

未だに故郷の土を踏めない方々も大勢おられます。亡くなられたご家族を思いながら、苦しい生活をされておられる方々もいらっしゃるでしょう。そして多くの国々で、発生から1年以上たってもなお終息の気配を見せないコロナウイルスの脅威。各々の辛い思いを神様に捧げた四旬節でもありました。

それでも富士吉田教会においては、去年は教会で与ることができなかった復活祭のごミサに、今年は与ることのできた幸せ。イースターエッグをいただいた喜びは、信徒の皆様にとってかけがえのないものであったと思います。

この4月8日から千葉俊一神父様が着任され、司牧していただきます。神様からいただく日々の恵みに感謝し、どんな時にも希望を抱いて、神父様と共に歩んで参りましょう！



こ よ み

2021年5月



2日（日）復活節第5主日 ミサ9：30 教会委員会

3日（月）聖フィリポ 聖ヤコブ使徒（祝日）

7日（金）初金曜日ミサ10：30 ロザリオ10：00

9日（日）復活節第6主日 子供と共に捧げるミサ9：30 世界広報の日（献金）
（聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区）

12日（水）手芸会 9：30

14日（金）聖マチア使徒（祝日）

16日（日）主の昇天 ミサ9：30

聖母行列 11：00（山中修道院）昼食なし

23日（日）聖霊降臨の主日 ミサ9：30（聖堂掃除は吉田地区）

30日（日）三位一体の主日 ミサ9：30（聖堂掃除は有志）

31日（月）聖母の訪問（祝日）

イタリア語教室 月曜10時 10日・17日・24日・31日

日曜学校 ミサ後 9日・16日・23日・30日

6月

4日（金）初金曜日ミサ10：30 ロザリオ10：00

6日（日）キリストの聖体 教会委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。
変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします。

5月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
2	東海林美佐子	東海林義夫	一雄	福永好雄	大野 隆	志村
9	大野 隆	栗原今朝夫	弘貴	小山田匡宏	曾根美香	江守
16	江守香代子	山本一孝	一雄	佐藤光良	相沢千代子	東海林
23	東海林美佐子	東海林義夫	一雄	志村好直	江守香代子	宮本
30	東海林義夫	栗原今朝夫	弘貴	渡辺幹雄	小松二三子	志村